



Since
1999

Kushiro Junior Jazz Orchestra with Yutaka Shiina Quartet

Special Jazz Concert



釧路ジュニアジャズオーケストラ
with 椎名豊カルテット

25th スペシャル ジャズコンサート

日本を代表する
ジャズピアニストと

釧路の吹奏楽生が送る
熱い、夢のひとつ！



椎名 豊 Pf
篠原 正樹 Tp
広瀬 潤次 Da
パット・グリーン B

2025.10.5<日>

会場：生涯学習センター大ホール

開場 16:30 開演 17:00 全席自由

入場料 (税込) 一般 1,700円 (当日2,000円) 学生 600円 (当日900円)

チケット
販売先

北海道釧路北陽高校、釧路市生涯学習センター、コーチャンフォー釧路文化ホール、
エルム楽器釧路支店、マタニティアイ、喫茶BROS

参加校

北海道釧路北陽高等学校吹奏楽局
北海道釧路工業高等学校吹奏楽部
釧路市立鳥取中学校吹奏楽部
弟子屈町立弟子屈中学校吹奏楽部
北海道釧路湖陵高等学校器楽部 ※

主催：くしろ椎名豊ジャズクラブ、一般財団法人釧路市民文化振興財団
共催：釧路市教育委員会
後援：釧路地区吹奏楽連盟、FMくしろ、釧路北陽高等学校吹奏楽局OBOG会

お問い
合わせ

くしろ椎名豊ジャズクラブ
☎ 0154-41-4401 (北陽高校 高尾)



椎名豊氏と 釧路ジュニアジャズ オーケストラの活動

平成11年に釧路町立富原中学校で、椎名豊氏による吹奏楽部への指導が実現し、その折り椎名氏の好意によりステージで共演する機会が設けられた。以来、椎名氏が釧路を訪れ続けて25年目となり、共演のステージに立った人は累計2000人を超える。コンサートに向けてのワークショップで、ジャズ特有のリズム表現やアドリブ演奏の方法について、椎名氏がピアノ演奏を交えながら丁寧に指導する。始めは手拍子によるアドリブ演奏が、楽器の一音を使つての演奏へ。やがてその音が二音、三音となり、メロディのアドリブ演奏となっていき、コンサート本番では客席から歓声が飛ぶ。

椎名氏の目指しているものは、プロの演奏家を輩出することよりも、「子どもたちが、同年代の多くの仲間と出会い、異なった世代の人々とのコミュニケーション、周囲の協力など、人との関わりや繋がりを“喜び”と“感謝”に変えて、発信していくこと。そして、自己表現の楽しさや演奏する感動を体験し、人生の自信とすること」にある。学生とプロのミュージシャンの息の合った共演は、他では味わうことのできない“楽しさ”と“喜び”を伝えてくれること間違いなし。充実した活動の成果をお楽しみいただきエキサイティングなコンサートを味わっていただきたい。



椎名豊カルテット プロフィール

Piano



椎名 豊

Yutaka Shiina

大胆さと繊細さをあわせ持ち、縦横無尽にスイングする椎名のピアノタッチはイメージーションにあふれ、そのピアノサウンドとオリジナル曲は世界中の音楽ファンを驚嘆させている。1964年9月23日、東京都、墨田区生まれ。国立音楽大学作曲学科在学中より活動をスタート。1991年、ロイ・ハーグローブ(tp)と日米混合ユニット「ザ・ジャズ・ネットワークス」を結成。日本側のリーダーとして活躍。1996年“エルヴィン・ジョーンズ(ds)ジャズ・マシーン”に参加。また、2003年よりチョン・ミョンフン、ヒュー・ウルフ、エリック・カンゼルの指揮のもと、東京フィルハーモニー交響楽団と共演、定期演奏会に出演。ガーシュインのピアノ・コンチェルト他を発表。これまでに多くのリーダー・アルバムを発表、最優秀新人賞他、数々の賞を受賞。国内での活動の他、アメリカ、ヨーロッパのツアーも毎年、大成功を納めている。その他、レコーディング、ツアー共演歴はニコラス・ペイトン(tp)、ジョシュア・レッドマン(ts)、クリスチャン・マクブライド(b)、レジナルド・ヴィール(b)、ロドニー・ウィテカー(b)、グレゴリー・ハッチンソン(ds)、ハーリン・ライリー(ds)、クラレンス・ベン(ds)、カール・アレン(ds)など1998年より、教育プログラムとして子供たちのためのレクチャープログラムやワークショップ、ジョイント・コンサートも国内外で展開。年代を問わず音楽を通じて、自己意識を高め、コミュニケーションをすることの楽しさや大切さを子供達と共に学ぶ活動を行っている。2007年より国立音楽大学、夏期音楽講習会ジャズピアノ講座を行う。2008年、ミシガン州立大学(デトロイト)でレクチャー、ワークショップ、コンサートを行う。2009年より千葉県浦安市、明海大学ジャズ・オーケストラ部・監督を務める。

Drums



広瀬 潤次

Junji Hirose

圧倒的なスイングとグルーブが世界から絶賛されているスーパー・ドラマー。1969年1月1日長崎県長崎市生まれ。11歳の頃から両親の影響でジャズに開眼すると同時にドラムを始める。東京学芸大学入学後、在学中から頭角を現し、プロとして活動を開始。1994年大西順子トリオ・フランスツアーに参加。1995年 椎名豊トリオ・全国ツアー(b:レジナルド・ヴィール)に参加。2007年 自己のリーダーバンド『SOund of JAZZ』を立ち上げ更に注目を集める存在になる。メンバーは、太田朱美(fl)、堀秀彰(p)、本川悠平(b)。2013年 ファースト・リーダー・アルバム「GRATITUDE」を発表、絶賛を博している。現在は、『SOund of JAZZ』のリーダーとしても活躍しつつ、『Encounter』、『高瀬裕(Bass)とのデュオユニット』、『椎名豊トリオ』、『松島啓之クインテット』のレギュラーメンバーとして日本をはじめ、世界各地を飛び回っている。アメリカのドラマーやベーシストとの数々の共演や交流で培った本物のスイング感とそのワイドな音楽性でベテランから若手のミュージシャンに絶大な支持を受ける現在最も多忙なミュージシャンの一人である。

Trumpet



篠原 正樹

Masaki Shinohara

圧倒的な音色の美しさと力強さ、自在に変化する豊かな表現力を兼ね備えたスーパー・トランペッター。洗足学園短期大学音楽科卒。現在、椎名豊(p)グループや自己のバンドで全国的に演奏活動のほか、世界三大ジャズ・フェスティバルのアメリカ・モントレー・ジャズ・フェスティバルにゲスト・ソロイストとして招かれ出演するなど世界的に活躍している。

Bass



パット・グリッ

Pat Glynn

1974年4月28日 アメリカ・ニュージャージー州ウエストフィールド出身。圧倒的なグルーブとスピード感でバンドを鼓舞させるスーパー・ベーシスト。ジェームス・マディソン大学と北イリノイ大学大学院でコントラバスを学び卒業。その後NYのジャズクラブ、ブルー・ノート、スモールズ、タウンホール、クレオパトラズ・ニードルで演奏。サム・リパース(ts)、エディ・ヘンダーソン(tp)、トミー・キャンベル(ds)、渡辺貞夫(as)と共演。2014年、サイラス・チェスナット(p)、カール・アレン(ds)とトリオを組みリーダー・アルバム『フーズ・オン・ベース』を発表。レイクランド大学ジャパン・キャンバスで音楽指導も行っている。